

# コンテナ苗秋植栽定着試験 3年目調査結果

## 1 調査概要

2016年11月に植栽したコンテナ苗（カラマツ・トドマツ・アカエゾマツ各50本）の毎木調査（根元直径、苗長、被害の有無）を2018年11月13日に実施した。

## 2 健全木比率の推移について

健全木比率を除雪区と対照区で比較したところ、下図の通りとなった。

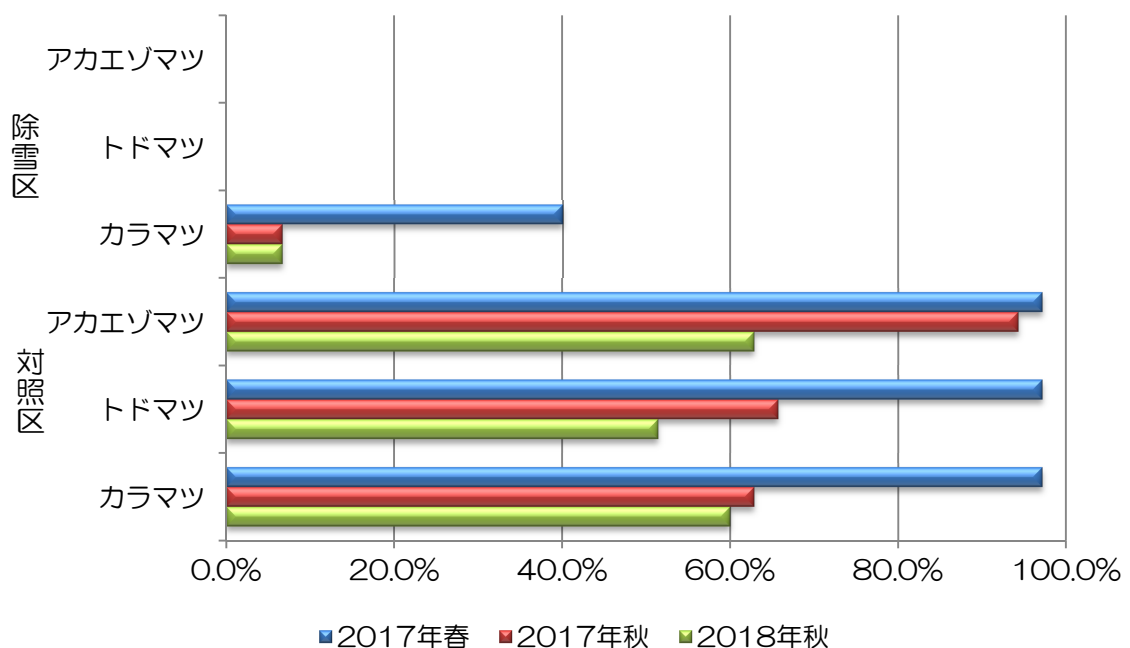


図1 健全木比率の推移

健全木はカラマツ1本のみ確認された。2017年秋にはトドマツとアカエゾマツについても健全木ではないものの生存が確認された苗木が存在していたが、今回の調査で全ての苗木が消失した事を確認した。

対照区のとどまつとアカエゾマツにおいて生残率の大幅な減少が認められた（カラマツ5%減少に対し、とどまつ22%減少、アカエゾマツ33%減少）。調査時点で苗木が消失している個体が殆どであったことから、下刈の際に誤伐された可能性が高いと推察される。

### 3 健全木の成長量調査結果

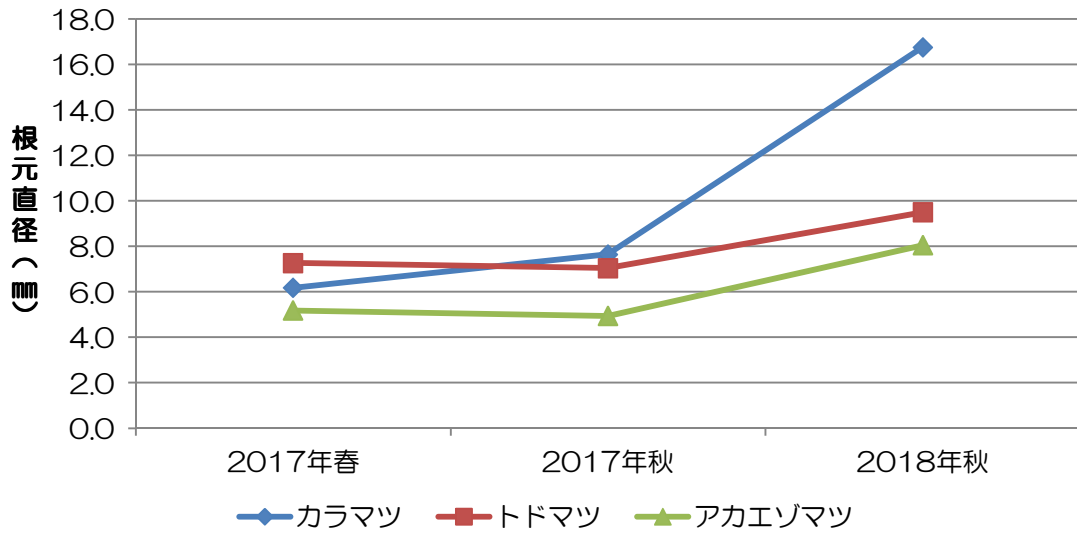


図2 樹種別 平均根元直径の推移

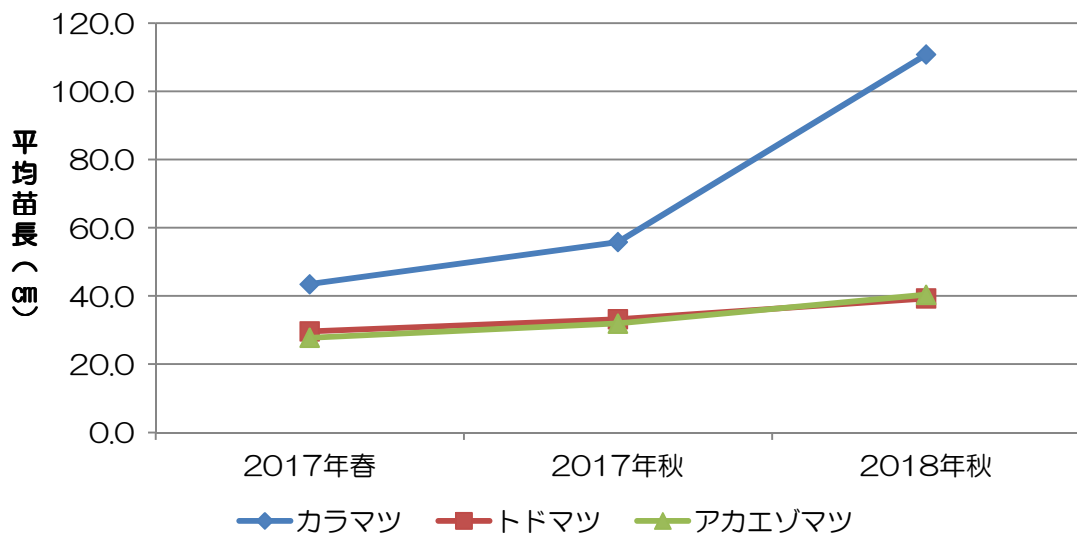


図3 樹種別 平均苗長の推移

カラマツについては、根元径及び苗長の成長量が大きかった一方で、トドマツおよびアカエゾマツは成長量が小さかった。苗長の成長量が小さかったために、下刈の際に誤伐が発生したと考えられ、上述2. に示すような生残率の減少につながったと推察される。